

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

1 実践テーマ	【 I, II, III 】
2 実施対象者	福島市立大鳥中学校 全校生徒 172名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( 総合的な学習の時間 )</p> <p>② 行事名 ( 文化祭 )</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<p>○オリンピック・パラリンピックの意義や歴史等の調べ学習を通し、東京オリンピック・パラリンピック競技大会への興味・関心を高める。</p> <p>○マナーに関するグローバルスタンダードと、日本の誇るおもてなしの心、さらには温泉地である飯坂地区での「飯坂のおもてなし」の実践について考える契機とする。</p>
5 取組内容	<p>1 オリンピック・パラリンピックの歴史や種目等の調べ学習 オリンピック・パラリンピックの歴史や種目等の調べ学習により、オリンピック精神、パラリンピック精神の理解と、実施種目の特徴やルール、歴史等に触れ、東京オリンピック・パラリンピック競技大会への興味・関心を高め、学習の成果を文化祭で発表した。</p> <p>2 障がい者スポーツの体験教室 シッティングバレーボールの体験教室を契機に、障がい者スポーツについての調べ学習を行い、パラアスリートのすばらしいパフォーマンスを体験するとともに、障がい者と健常者のインクルーシブな社会の構築について考えた。</p> <p>3 おもてなしの心に学ぶ教室 筑波大学客員教授 江上いずみ 様を講師にお迎えし、全校生参加の講演会を実施した。 江上先生の経験を交えながら接客やマナーに関するお話をいただいたり、グローバルスタンダードのマナーを実際に体験したりしながら、「おもてなしの心」について学習した。</p>

<p>6 主な成果</p>	<p>1 障がい者スポーツ体験教室（1，3年）  シッティングバレーボールの体験教室を契機に，次のことを学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生は，パラリンピックの精神や歴史についての調べ学習を行い，その中で，パラアスリートのすばらしいパフォーマンスに触れ，障がいをもっているも自己の能力に挑戦するすばらしさや，それを支える社会の重要性について学ぶことができた。</li> <li>・3年生は，福祉の学習と結びつけ，障がい者と健常者のインクルーシブな社会の構築に向け，身近な社会の見直しと自分たちができることについて考えることができた。</li> </ul> <p>2 おもてなしの心に学ぶ教室（全学年）  相手をお迎えするときの心構えやマナー等について，グローバルスタンダードの立場からのお話と，日本の良き伝統である「おもてなしの心」についてのお話をいただき，生徒にとって，世界に通じる「飯坂のおもてなし」について考える機会となった。また，相手の目を見てあいさつをしてその後礼をする「分離礼」や，表情を明るく言葉をしっかり伝えることなど，学校生活の中で早速意識しながら実践している姿が見られた。  福島市が野球・ソフトボール競技の開催地として，「自分たちが世界中から多くの方々をおもてなしする」という意識を高めることができた。</p>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<p>調べ学習や体験教室，講演会を通して，生徒たちの，東京オリンピック・パラリンピック競技大会への関心や，野球とソフトボール開催地としての当事者意識の高まりの契機となるよう企画した。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>昨年度に引き続いての取り組みであったが，教育課程の関係上，初めて活動する1年生を主体とせざるを得なかった。1年生が3年生のときに東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され，学区である飯坂温泉にも，多くの観光客が訪れることをこの学習のベースとし，実践内容や講演会のテーマ等を決定した。  学年による活動時数や内容に差が生じたことが，オリンピック・パラリンピックに関する生徒の関心や意識に差が見られる結果となってしまった。  2020年に向け，生徒の自主的な活動が展開できるよう，参考図書の充実や，地域との連携強化を図る必要がある。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関する調べ学習  ○インクルーシブな社会構築等，望ましい社会のあり方についての学習と実践  ○オリンピック開催地の温泉地である当地区で，生徒主体の世界に通じる「飯坂のおもてなし」の実践</p>